

TA-netとは

「みんなで一緒に舞台を楽しもう!」を合言葉に

2012年12月、演劇好きな聞こえない人、聞こえる人が集まって発足。2013年7月にNPO法人格を取得。

観劇サポートの大切さについて、演劇界だけでなく

ひろく社会に向けて啓発、情報提供、支援を行い、幅広く活動を展開しています。

平成27年度文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞(芸術振興部門)、第14回読売福祉文化賞を受賞いたしました。

障害当事者が主体となって団体運営を行っており、

演劇関係者、ホール関係者、演劇ファン、支援者などなど、幅広い方々が会員として活動に参加しています。

2016年1月現在、102名・5団体。随時会員募集をしています。

無料メルマガを定期的に発行中。非会員もお読みいただけます。面倒な個人情報の入力不要。

詳しくはTA-net公式サイトを御覧ください。

問い合わせ・申込先 特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク(TA-net)事務局
mail:info@ta-net.org FAX:020-4664-1221 WEB:http://ta-net.org/

FAXで申込まれる場合は、下記をご利用ください。

送信先:020-4664-1221(番号をお間違えないようお願い致します。)

TA-net シンポジウム(3月19日、20日)参加申込書

*お名前(ふりがな)

*連絡先(FAX・電話 のいずれかに○を囲んでください)

*連絡先(メール)

PCからのメールを受信できるアドレスをご記入ください。

*必要な情報保障・サポート ☐手話 ☐文字 ☐磁気ループ ☐その他()

*参加希望日 ☐2日間参加 ☐3/19のみ参加 ☐3/20のみ参加

*メッセージ

*情報交換会 ☐19日のみ参加 ☐20日のみ参加 ☐両日とも参加 ☐当日決めたい

アクセス 東京都江東区森下3-5-6

<交通案内>

地下鉄都営新宿線、都営大江戸線「森下駅」A6出口 徒歩5分
東京メトロ半蔵門線、都営大江戸線「清澄白河駅」A2出口 徒歩10分



上記QRコードからも
お申し込みいただけます



シアター・アクセシビリティ・ネットワーク 第3回シンポジウム



英国の字幕による 観劇サポートの事例から 聴覚障害者の観劇・鑑賞活動における アクセシビリティの構築を考える

1日目

2017年3月19日(日)
13:00-16:30

『芝居に字幕は邪魔なのか?』 ～字幕による観劇サポートセミナー～

英国では、シェイクスピア劇場をはじめ、日本でも上演されるポピュラーな作品でも舞台袖等にオープンなスクリーンを設けており、誰もがそこに字幕があること、字幕を必要とする人がともに観劇していることを認識しており、違和感なく観劇サポートを伴う舞台を作り上げることができています。日本では未だにオープンな字幕については許容されることは少なく、手元のタブレット等によるクローズドキャプションが主流です。なぜ、上演するときに「字幕が邪魔」という認識があるのでしょうか。例えばキャッツ、ライオンキング、オズなど、日英で上演される同じ作品でありながら、英国では観劇サポートがあり、日本ではサポートがありません。日本で演出上問題とされるのはどの部分なのかについて考えるため、演出家、劇作家、俳優等の演劇関係者及び劇場等の施設管理者、障害当事者を対象としたセミナーを行います。日英それぞれの字幕によるサポートの現状をそれぞれの状況と課題とともに報告します。そのうえで、障害当事者および演劇関係者と共に「字幕は邪魔なのか?」「字幕と演出の共存」というテーマで意見交換を行います。

2日目

2017年3月20日(月・祝)
13:00-16:30

『観劇環境の アクセシビリティの構築に向けて』 ～国際シンポジウム～

TA-netの3年間の活動の総括として、広く観劇サポート支援、観劇・鑑賞活動にかかるアクセシビリティの構築に向けた意見交換を行います。

情報保障

日英通訳/日本手話通訳

UDトークによる文字支援

要約筆記

磁気ループ

参加
無料

両日とも終了後に1時間の情報交換会あり。
当日参加も大歓迎ですが、準備の都合上、できるだけ事前にお申し込みください。

助成: 公益財団法人セゾン文化財団



1日目 スケジュール 2017年3月19日(日) 13:00-16:30

『芝居に字幕は邪魔なのか?』 ～字幕による観劇サポートセミナー～

- 13:00 TA-net報告「TA-netの字幕によるサポート事例」
- 13:25 基調講演「観劇サポートにかかる英国の状況について」
メラニー・シャープ氏
- 15:10 意見交換
「字幕と演出の共存について」「字幕は芝居に邪魔なのか?」
- 16:30 終了

同会場にて1時間の情報交換会あり

指定発言者

松森果林氏
(聞こえる世界と聞こえない世界をつなぐユニバーサルデザインアドバイザー、
元内閣府障害者政策委員会 委員)
株式会社イヤホンガイド、
株式会社NHKグローバルメディアサービス、
日本劇作家協会、
一般社団法人日本演出者協会

基調講演 ステージテキスト代表 メラニー・シャープ氏

メラニー・シャープはStagetextの最高責任者です。Stagetextとはイギリス全土の劇場や文化施設においてろう者、難聴者などの聴覚障害者に字幕や実況字幕を提供し、聴者と同様の芸術鑑賞の機会を得る手助けをしているイギリスの慈善団体です。

メラニー・シャープは世界でも有数の豊かさをもつイギリスの芸術業界で大変多くの経験を持つスペシャリストです。これまでに「ベッカム劇場」総支配人、「オーヴァルハウス」教育責任者、「ジャクソンズ・レーン」理事、「アート・オブ・リジェネレーション」(「アルバニー」と「ロイヤル・ナショナル・シアター」の共同事業)のチームリーダーなど幅広い施設で上級管理職の役職を務めてきました。そして過去8年間は芸術専門のコンサルタントとしてフリーランスで活躍、この間、高い技能・知識を持つ劇場の責任者たちが持続的に舞台運営できるよう数多くの団体を改革に導きました。

メラニー・シャープは俳優としてのトレーニングを積み、ロンドンで高く評価されている「ローズ・ブルフォード・カレッジ」にて「公衆劇場と劇団育成」の学位を取得し1983に卒業。その後コヴェントリーの「ベルグレード劇場」や「ロイヤル・ストラッドフォード・イースト劇場」において、俳優やディレクターとしての実績が評価され成功を収めました。「若者も年配者も聴覚障害者も社会で権利を剥奪された人も、性別や人種に関わらず、すべての人々が平等に芸術に触れる権利を持つべき」という強い信念のもと活動を発展させ尽力してきました。

メラニー・シャープは炭坑作業員の父と青年労働者の母との間に、現在看護師をしている姉と2人姉妹としてイギリス、イースト・ミッドランド地方のマンズフィールドで生まれました。現在、ロンドン市内で愛猫「マイニー」と共に暮らしています。仕事以外で好きなものは、アンティークの布地や織物、コスチューム、靴やバッグです。

ステージテキスト Stage TEXT

英国を代表する字幕製作会社。ロンドンを拠点に、さまざまな劇場や会場でのライブ字幕や字幕製作を行っています。
2000年5月に設立。 <http://www.stagetext.org/>

TA-netの年間活動の総括であるシンポジウムの3回目となる今回は、日本と英国の観劇支援にかかるアクセシビリティの取組の最新情報の共有と、今後の取り組みの方向性について当事者、演劇関係者、文化政策研究者、中間支援それぞれの立場からパネルディスカッション式で意見交換を行います。

「より良い観劇システムについて」問題提起を行った第1回、「舞台手話通訳」という観劇サポートのあり方について考えた第2回及び「字幕」を通じた観劇サポートを考えた国際セミナーを踏まえて、より具体的な、聴覚障害者のための観劇サポートの取組及びアクセシビリティの仕組みの構築について総括したうえで、文化庁をはじめとする関係機関に向け観劇サポート支援システムの構築について提言を発表いたします。提言を受け、2020オリパラとその後に向けて、今後どのような方向性で進むべきかについて話し合います。

2日目 スケジュール 2017年3月20日(月・祝) 13:00-16:30

『持続的な観劇・鑑賞活動の アクセシビリティの確保に向けて』 ～国際シンポジウム～

- 13:00 TA-net年間活動報告、
「演劇・創作の現場における手話通訳養成講座」の報告
- 13:40 提言発表
- 14:05 パネルディスカッション
- 16:30 終了

終了後、同会場にて1時間の情報交換会あり

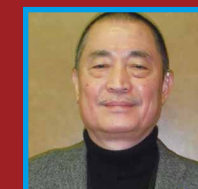
パネリスト



ステージテキスト代表
メラニー・シャープ氏 Melanie SHARPE



文化政策研究者、
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 芸術・文化政策センター長
太下 義之氏 OSHITA Yoshiyuki



一般社団法人 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会理事長
新谷 友良氏 SHINTANI Tomoyoshi



公益財団法人東京都歴史文化財団
東京芸術劇場 副館長
高萩 宏氏 TAKAHAGI Hiroshi